

フカヒレについて

5 2 1 6 S

テーマ設定の理由

僕はサメのことがよく知らなくてサメでできている食べ物なら、ぼくも少しは知っていると思ってフカヒレのことを調べました。

研究テーマ内容

(1) 加工の手順



これから、サメの加工の仕方を紹介します。

最初にヒレを 65 度くらいで湯漬けし、ウロコを取ります。その後フカヒレは、三角形みたいな形になっています。煮込むと三日月みたいな形になります。

次にウロコを取り温度 40 度以下で処理すると軟骨、ヒレが温度変性せず良質のコラーゲン、コンドロイチンが出来る。

(2) サメの体の部分でできている食べ物

次にサメの体の部分でできている食べ物を紹介します。例えば、はんぺんです。あの、おでんに入っているはんぺんです。

他にも、色々あります。何かというと、ちくわ、フカヒレがサメから、つくられています。そういう食べ物をつくれるサメは、ヨシキリザメやモウカザメ



などです。なので、気仙沼の人達にフカヒレのことを聞けば、絶対に美味しいと言うに違いありません。ちくわや、はんぺんもおでんに入れて食べるように、それぐらいフカヒレは美味しいと思います。なので、この文を読んだらフカヒレを食べたくなると思います。都

会の人でも、フカヒレを食べれば誰でも、「美味しい」「これ好き」というふうに、絶対に言います。それから、フカヒレのお菓子もあります。

フカヒレは、いろいろな食べ物に進化させることも出来ます。そのまま食べなくてもいろいろな物に出来るから、フカヒレは便利で美味しいので、とても食べやすいです。ぼくは、魚の刺身のことぐらいしか知らないのでぼくも、もっと魚のことを知ろうと思ってフカヒレのことを、調べて気仙沼以外の地域の人達に、伝えようと思っていっぱい調べました。この文章を読んだ人は、騙されたと思って気仙沼に、フカヒレを食べに来てください。よろしくお願ひします。僕もいっぱい頑張るので、みなさんもいっぱい頑張ってください。そして是非、気仙沼のリアスシャークミュージアムに、フカヒレスープの試食があるので食べに来てください。よろしくお願ひします。ぼくは、これまでフカヒレなんて食べたことが、ありませんでした。ぼくは気仙沼のフカヒレを食べたとき目覚めてこう思いました。

「これは、革命だ！！」

他の都道府県のみなさんも絶対に、絶対に誰でも好きになれます。

サメという生き物は怖い生き物だけど、料理にすれば美味しいので、サメのことを思わなければ、サメなんてぜんぜん怖くありません。

だって、あんなに美味しい食べ物を食べられるのに、サメを怖がっちゃフカヒレだって食べられないじゃないですか？だから、サメに慣れてください。ぼくだって、最初はサメが怖かったです。でも、ぼくは気仙沼の住民なので怖がっ



ちゃだめと思ったので、ぼくは、克服しました。みなさんも、サメのことを克服してください。サメに意地悪しなければ、サメだって自分の方に寄ってこないでください。よろしくお願ひします。サメの料理は美味しいんですよ。それでも、サメのことが

怖いならサメの料理が食べられません。でも、せつかくフカヒレを作っている人達が悲しむと思います。なので嫌いとか言わずにぜひ食べてください。そし

て、自分で食べに行ってもいいと思ったなら、お母さんやお父さんに聞いてみてください。良いと言われたらぜひ食べに来てください。よろしくお願いします。または、お母さんとかにだめと言われたら、優しいお爺ちゃんとかお婆ちゃんに聞いてみましょう。

今後の課題

ぼくは、魚獲量について調べています。今、魚獲量が減ってきています。漁業で働いている若い大人の人達も減ってきています。そのため、さっきも言ったように魚獲量が減ってきています。そのために、やっていることがあります。

感想

フカヒレや、はんぺん、ちくわなどは、サメの体から出来ているということが、初めて分かりました。最初は、みんなフカヒレの話をしているからフカヒレってなんだろう？と思いました。ぼくは、その食べ物は何だろうと思いました。でも、ぼくはこの「豊かな海気仙沼」というテーマでフカヒレのことを調べて、ぼくは本当にフカヒレのことを調べて良かったと思いました。そのままにしていたら、大変なことになっていたと思います。やっぱり、かんがえる力は絶対に、大人になっても必要な力になると思います。大人の皆さんも途中で諦めちゃだめだと思います。ぼくも諦めません。そしてサメから作られているのは食べ物だけではないということが分かりました。ベルトや、財布などが作られています。ぼくは、フカヒレやサメのことを調べてこういうことまで分かりました。ぼくは、このフカヒレのことを調べてぼくは将来、サメや他の魚を冷凍させる会社とか魚に関係のある仕事につきたいです。ぼくは、魚の仕事には興味がなかったけど魚のことを調べてこうと思いました。「魚の仕事は楽しそうだなあ〜」と思いました。

これからいろいろな経験や体験があると思うけど魚の仕事はぼくにとっては一番好きな仕事です。ぼくは、違う仕事にも興味があったけどぼくはやっぱり魚の仕事がなきゃぼくはこういう魚の関係に気付かなかつたし、魚の仕事にも出会えなかったと思います。

気仙沼は、美味しい物がいっぱいあるので

是非食べに来てください！